

AP1 自分の考えをもち、楽しく学び合う生徒の育成

●後期の取組について

<方策①>

- ・全体発表に限らず、ペアやグループの活動においても、自分の意見をしっかり考え伝えるよう生徒に意識させる。

<方策②>

- ・友達の考えを聞き、自分の考えとの違いや新たな気づきを実感できるような、振り返りの場を設ける。



【保健体育科】

グループで話し合ってダンスのフォーメーションを考える



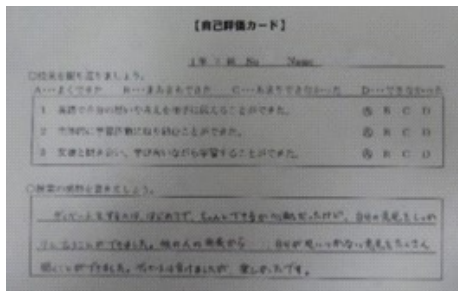
【理科】

グループで実験をして、火山の形のちがいについて考える



【美術科】

グループで自分の性格を形で表現したものを共有する

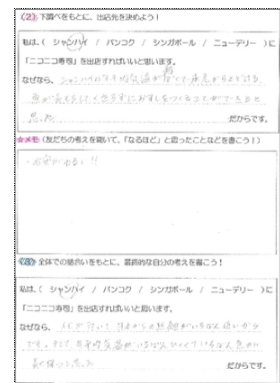


【英語科】

ワークシートで、学習課題が達成できたか振り返る

【社会科】

ワークシートを活用し、2回にわたり記入した内容を比較する



●生徒意識調査結果（後期）

| | 意識調査項目（目標値） | 前期達成度 | 後期達成度 |
|---|---|-------|-------|
| 1 | 授業では、自分の思いや考えをもち、相手に伝えることができた。（85%） | 76.4% | 92.4% |
| 2 | 授業では、友達の思いや考えを聞き、自分の考えを深めることができた。（80%） | 90.0% | 93.1% |
| 3 | 授業では、学習課題（授業のめあて・ねらい）の解決に向けて、意欲的に取り組むことができた。（80%） | 88.6% | 85.5% |
| 4 | 授業の終わりの振り返りでは、その時間に何を学んだかを実感することができた。（80%） | 79.3% | 81.7% |

●成果と課題

生徒意識調査において、前期と後期の結果を比較したところ、多くの項目で意識の向上がみられた。特に、項目1では大幅な上昇がみられ、項目2とともに、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」を併せて90%以上となる高い成果を得ることができた。項目1と2が向上したことで、項目4のように学びを実感することができたと答える生徒の増加につながったと考える。

- ・生徒が、学習課題に対して解決の過程を振り返り、試行錯誤しながら学習する環境を用意することが必要である。
- ・生徒の思考を深める、学習意欲を引き出すための「発問」「指示」「説明」を教師が吟味し、精選することが必要である。
- ・生徒が興味・関心をもって活動に取り組めるための学習環境の工夫や、自分の考えを自由に表現することができる場を設定するなど、教師が授業構成を工夫していく必要がある。

A P 2 互いに認め、学び合い、高め合う集団を目指して、自ら行動する生徒の育成

●後期の取組

・挨拶について

前期に引き続き、毎月7日、17日、27日に風紀委員が登校時に生徒玄関や各教室の前で挨拶運動を行った。また、登校時間にボランティア委員を中心に落ち葉掃きをしたり、有志の生徒で除雪をしたりした。そのような活動を通して、学年の枠を超えて挨拶を交わす姿が見られた。



【落ち葉掃き】



【除雪】



【挨拶運動】

・生徒が主体となって活躍する学校行事

2学期は、運動会や合唱コンクール・学習発表会等の学校行事が多くあった。団や班、学級の一員として自分の役割を果たそうとする姿が多く見られた。

合唱コンクールに向けて、企画委員や文化委員によるリーダー研修会を行った。研修会で学んだことを生かして、各学級では指揮者や伴奏者、パートリーダーが中心となって計画を立て、練習を行った。計画どおりに練習が進まない時も、目標を見失わず練習計画を見直しながら、よりよい合唱をつくりあげるために、学級で協力していた。

毎年、運動会は「南中ソーラン」を全校生徒で踊って締めくくっている。初めて「南中ソーラン」を踊る1年生のために、3年生が手本を見せ、一つ一つの動作を教えたり、一緒に踊ったりしながら指導した。振り付けとともに「南中ソーラン」に込める思いを伝え、南中の伝統を継承している。

また、コロナ禍以前に行われていた福祉施設訪問が行われ、2年生が「万葉の杜」を訪問した。万葉の杜では、生徒による合唱やレクリエーション等を行った。準備段階では、入所者の方にいかに楽しんでいただくかを考えながら、企画等を行う生徒の姿が見られた。



【リーダー研修会】



【南中ソーラン】



【3年生が1年生に教える様子】



【2年生の福祉施設訪問】

●生徒意識調査結果（後期）

| | 意識調査項目（目標値） | 前期達成度 | 後期達成度 |
|---|--|-------|-------|
| 1 | 自分からさわやかな挨拶をすることができた。(85%) | 88.6% | 86.3% |
| 2 | 相手の気持ちや立場を考えた言葉や行動を心がけることができた。(90%) | 93.6% | 93.1% |
| 3 | 学校生活の様々な場面で、自分のできることを考えながら率先して行動することができた。(85%) | 84.3% | 90.1% |

●成果と課題

- ・生徒意識調査は、どの項目も目標値を上回った。
- ・挨拶に関する項目では、前期と比較して2.3ポイント低下した。3年生の部活動引退や1年生の学校生活への慣れが一因と考えられる。年間を通じて、学校内外で自分からさわやかな挨拶ができるよう働きかける必要がある。
- ・各行事では、下級生の様子を確認しながら練習を進めたり、できるようになった部分を認めながら次の課題を提示したりするなど、上級生が主体となって活動する姿が見られた。その上級生の姿を模範として、下級生は各学級、学年の中で実践しようとしていた。